

# 教会史下（宗教改革から現代まで）案4

2020年後期

担当：藤井 義生

期間 2020年10月23日（金）－2021年3月19日（金）

授業時間 金曜 8：30－11：20

場所 宣教センター2階（池田市石橋2-17-10-B 072-761-1397）

講師連絡先 090-6759-9378 [yosiomegumi@gmail.com](mailto:yosiomegumi@gmail.com)

ZOOM ID 865 8598 6938（パスワードは、受講申し込み後にお伝えします。）

## Aコースの概要

本クラスでは宗教改革から20世紀までのキリスト教のストーリーから学ぶ。

## B コースの目的

このコースを取ることによって生徒は次のことができるようになる。

1. 地上の神の民として、過去の教会の成功と失敗から謙虚に学ぶ。
2. 他者（カトリック、英国国教会、正教会、改革派、ルター派、再洗礼派、メソジスト派、バプテスト派、ペンテコステ派など）を理解し、対話できるようになる。
3. 所属する地方教会の教会政治、聖礼典、礼拝（讃美歌、新聖歌）、宣教方法、の特色と意義を深く理解し、所属教会への愛と献身を深める。

## C 関連のある他のクラス

1 MB歴史 2 教理史 3 組織神学 4 霊性神学 5 礼拝と音楽

## D クラスの流れ

8：30-9：45 課題発表、ディスカッション

9：45-10：05 休憩

10：05-11：20 講義・全体ディスカッション

## E テキスト、

・キリスト教史 下巻 **増補新版**／フスト・ゴンサレス /新教出版社

\*以下参考資料、これは購入する必要はありません。EBS図書にあり

・教会アーカイブズ入門 記録の保存と教会史編纂の手引き /山口陽一 他 /いのちのことば社

・永本哲也ほか『旅する教会～再洗礼派と宗教改革～』新教出版社、2017年

## Fコースの課題

以下の課題を全員にメール配信する。（Word文書 A4 12ポイント、発表の前日 午後6時まで）

## \*引用について

A インターネットの三行以上のコピペは禁止です。なるべく自分の言葉に言い換えて

B 引用文は、脚注に参考図書を明記（無断のアイディアの引用は、剽窃（ひょうせつ）と言

って、避けなくてははいけません。)

1 小レポート (30%)

各章の人物あるいは出来事を一つ選び概要とコメントをする。

(A4 1ページ、合計5回発表)

2 小レポート質問 (10%)

他の生徒の小レポートを読み、授業の中で二つの質問をする。(2回)

良い質問は、第一に、正直な質問です。自分が、正直疑問に思ったこと、また、教えて欲しいことを聞きます。正直さは、周囲の人の心を開き、また共感を誘います。ユーモアが含まれるとその場を和ませます。第二に、良い質問は、相手を困らせるようなものであっては、なりません。相手が窮するような質問は、回答者に恥をかかせてしまいます。それは、その場を、冷たい空気にさせます。また、プライベートすぎる質問も考え物です。第三に、良い質問は、独りよがりではありません。自分だけが知っているマニアックな質問は、自分の知識のひけらかしであったり、単なる自分の意見であることがあります。質問者、回答者、そしてそれを聞いている人たちに、良きディスカッションと有意義な洞察が生まれる時、それは良い質問となります。

3 奉仕教会の記念誌研究 (30%)

奉仕教会の記念誌を調査しまとめてください。

レポートの構成：1 開拓物語 2 会堂建設物語

3 「一枚の写真から」(写真1枚、インタビュー1名)

4 展望 5 参考文献

(A4 12pt. 4ページ、期限：12月24日(木)午後6時、これについては奉仕教会の牧師にも同時提出) 分かち合い 1月15日(金)

4 公開講座発表 (20%)

「教会ヒストリア」という ZOOM 公開講座を開催します。

講師が、講座を設定します。学生は、「奉仕教会記念誌研究」の発表担当してください。

(発表：20分、質疑応答：10分)

5 授業参加度 全回 (10%)

机・椅子並べ、ホワイトボード、プロジェクターの準備、質問、傾聴、簡潔明瞭な発言、生徒間の対話を評価します。

Gコースの評価

60点以下はFで取り直し。(A+98、A95、A-92、B+88、B85、B-82、C+78、C75、C-72、D+68、D65、D-62、F60)

Hスケジュール(変更の可能性あり)

第一回

10/23 (金) 発表 (山本兄 ) 質問 ( )  
イントロダクション

第I部 宗教改革

- 1 宗教改革を求めて
- 2 マルティン・ルター

10/30 (金) 祈祷日

第二回 11/6 (金) 発表 ( ) ( ) 質問 ( )

- 3 不確かな十年間
- 4 ルターの神学
- 5 ウィルリヒ・ツウィングリとスイスの宗教改革

第三回 11/13 (金) 発表 ( ) ( ) 質問 ( )

- 6 急進派運動
- 7 ジャン・カルヴァン

第四回 11/20 (金) 発表 ( ) ( ) 質問 ( )

- 8 グレートブリテンの宗教改革
- 9 ルター主義のその後の展開
- 10 低地地方の宗教改革

第五回 11/27 (金) 発表 ( ) ( ) 質問 ( )

- 11 フランスのプロテスタント主義
- 12 カトリックの宗教改革
- 13 危機的状況の中でのプロテスタント主義
- 14 激動の時代

第六回 12/4 (金) クリスマス

発表 ( ) ( ) 質問 ( )

第II部 正統主義、合理主義、敬虔主義

- 15 教義と懐疑の時代
- 16 三十年戦争
- 17 荒野の教会

(記念誌研究 提出 12/24 (木) 午後6時まで)

第七回 1/15 (金) 記念誌研究分かち合い 小レポートはなし

- 18 ピューリタン革命

19カトリック正統主義

第八回 1/22(金)

ZOOM 公開講座 教会ヒストリア～奉仕教会記念誌研究～  
8:30～9:00 準備

9:00～11:00 公開講座  
893 3972 6858

第九回 1/29(金)

発表( ) ( ) 質問( )

20ルター派正統主義

21改革派正統主義

22合理主義的選択

23聖霊主義的選択

第十回 2/5(金)

発表( ) ( ) 質問( )

24敬虔主義的選択

25十三の植民地

第十一回 2/12(金)

発表( ) ( ) 質問( )

第三部「キリスト教世界」を超えて

26「キリスト教世界を超え行く時代へ」

27変わりゆく世界—アメリカ合衆国

第十二回 2/19(金)

発表( ) ( ) 質問( )

28変わりゆく世界—西ヨーロッパ

29変わりゆく世界—ラテンアメリカ

30変わりゆく世界—東方教会

31プロテスタント神学

第十三回 2/26(金)

発表( ) ( ) 質問( )

32近代化と対峙するカトリック教会

33地理的拡張

34ローマ・カトリック教会

第十四回 3/5(金)

小レポートはなし

35「中心」での危機—ヨーロッパのプロテスタント教会

36「中心」での危機—合衆国のプロテスタント教会

第十五回 3/12(金)

37周辺とされてきた瀨敬の活力

38エピローグ

予備日 3/19(金)

後期終業式

\*試験週のテストはなし